

### 2.7.3 代表図面

2 サイクルエンジンの潤滑の代表的図面を表 2.7.3-1 に示す。

表 2.7.3-1 2 サイクルエンジンの潤滑の代表図面 (1/2)

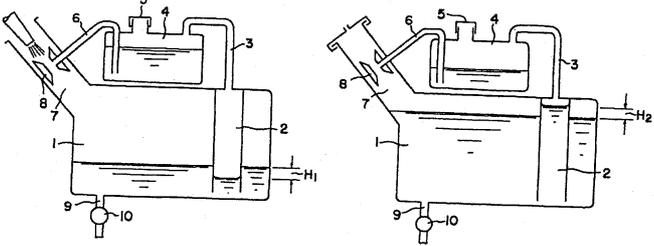
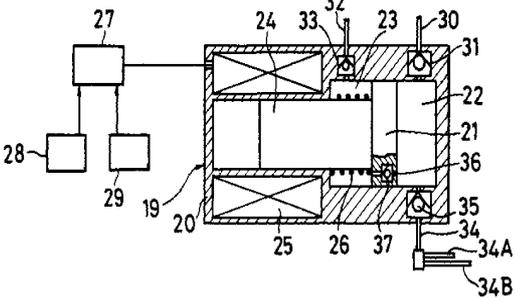
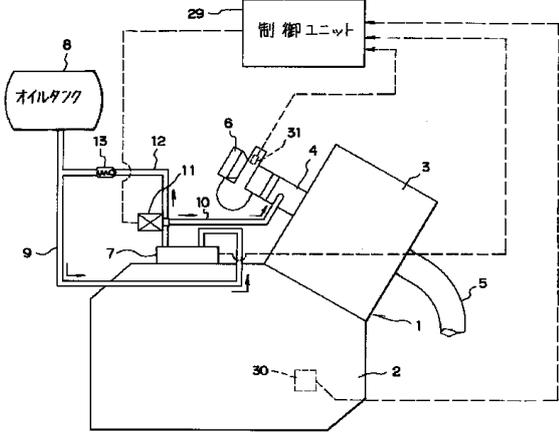
出願日/優先権主張日 発明の名称 出願人 公報番号 概要	代表図面
<p>81.2.5                      2 サイクルエンジン用燃料タンクの潤滑油混入装置                      スズキ                      特公昭 64-8166                      燃料タンク内に潤滑油タンクと連結するプレッシャチャンプを設け、潤滑油タンク底部と燃料タンク注入管に設けたベンチュリとを連結する。燃料の注入量に応じて潤滑油が吸い出され自動的に所定割合の混合燃料が調製される。</p>	
<p>84.6.28                      潤滑油混合燃料の供給装置                      三信工業                      特公平 6-29532                      エンジンで駆動されるピストンポンプにおいて、燃料を導入して吐出する第1室と潤滑油を導入して吐出する第2室に、所定割合の吐出量になるように区画した。単一構造の簡素なポンプを使用し、自動的かつ確実に所定混合比の潤滑油混合燃料を作り、供給することができる。</p>	
<p>91.3.15                      車両用エンジンの潤滑装置                      スズキ                      特許 2998243                      潤滑油を供給するプランジャポンプ吐出の油路に設置された供給量調整弁（電磁弁）を、制御ユニットでスロットルバルブ開度と回転数に応じてあらかじめ設定された時間の比率で開閉して所定量の油を供給する。プランジャストロークはスロットルバルブの開度に応じて調節される。</p>	

表 2.7.3-1 2サイクルエンジンの潤滑の代表図面 (2/2)

<p>出願日/優先権主張日          発明の名称          出願人          公報番号          概要</p>	<p>代表図面</p>
<p>96.9.6          2サイクルエンジンの潤滑油供給装置          ヤマハ発動機          特開平 10-82310          オイルポンプの駆動を電磁ソレノイドによりオンオフ電気駆動とし、その駆動状態検出手段と、オンオフ出力タイミングと駆動状態検出タイミングとを比較して異常を検出する。全回転域で潤滑油の供給量を制御し、駆動系の異常を検出し、異常検出後の確実な対応をとる。</p>	
<p>91.3.25          2サイクルエンジンのオイル給送装置          本田技研工業          実登 2565251          クランク室底部と吸気通路を連結するオイル回収路を所定温度以下で該通路を閉止する感温弁を設けた。エンジンが十分暖機された状態で回収オイルはクランク室、燃焼室に送られ、白煙が発生しない。</p>	
<p>80.5.2          2サイクル内燃機関のクランク軸潤滑装置          本田技研工業          実公昭 60-8099          クランク軸を支承する軸受に対面する、クランク軸のウェッジ側面に放射方向に伸び、かつクランク室に開放する通油溝を設けた。クランク室壁の潤滑油は通油路、軸受を通過して通油溝に流入した後、ウェッジの遠心力でクランク室に戻り、循環使用される。</p>	